

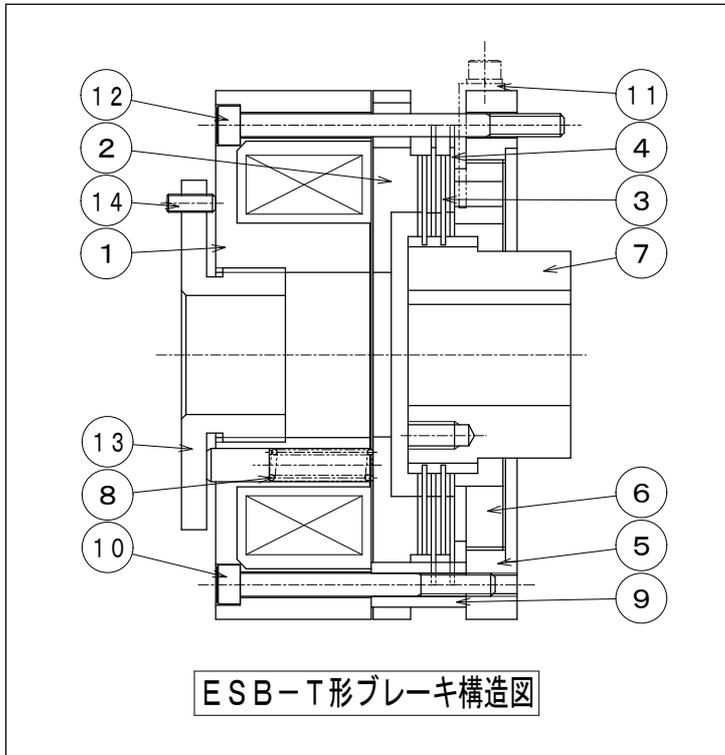
ESB-T形トルク調整方法



株式会社 大崎電業社

1. 構造

ESB-T形は下記構造のようにトルク可変ネジ⑬を回すことにより、制動バネ⑧のストロークを可変させトルクを約30~100%の間でトルク調整が可能な電磁ブレーキです。



品番	品名
①	フィールド
②	アーマチュア
③	インナーディスク
④	アウターディスク
⑤	センターリング
⑥	ギャップ調整ネジ
⑦	ハブ
⑧	制動バネ
⑨	スペーサーブッシュ
⑩	固定ボルト
⑪	ストッパー
⑫	取付ボルト

⑬	トルク可変ネジ
⑭	止メネジ

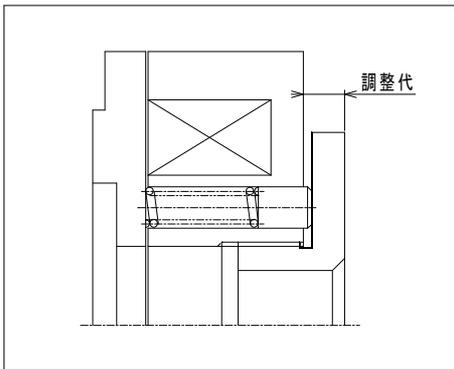
2. トルク設定範囲

トルクの設定可能範囲は下記の通りです。詳細は設定トルクと調整代の関係のグラフを参照下さい。

トルク設定範囲								
形式	ESB-80T	ESB-100T	ESB-115T	ESB-135T	ESB-165T	ESB-190T	ESB-220T	ESB-250T
最大	3 Nm	7.5 Nm	17.5 Nm	35 Nm	75 Nm	150 Nm	300 Nm	600 Nm
最小	1 Nm	2.5 Nm	6 Nm	12 Nm	25 Nm	50 Nm	120 Nm	333 Nm

注意：ESB-80T～ESB-165Tは構造上、最低設定トルク以下の設定が可能でトルクが発生しなくなる設定まで調整可能ですが、大変危険ですので、最小設定トルク以上で御使用下さい。

3. 設定トルクと調整代の関係

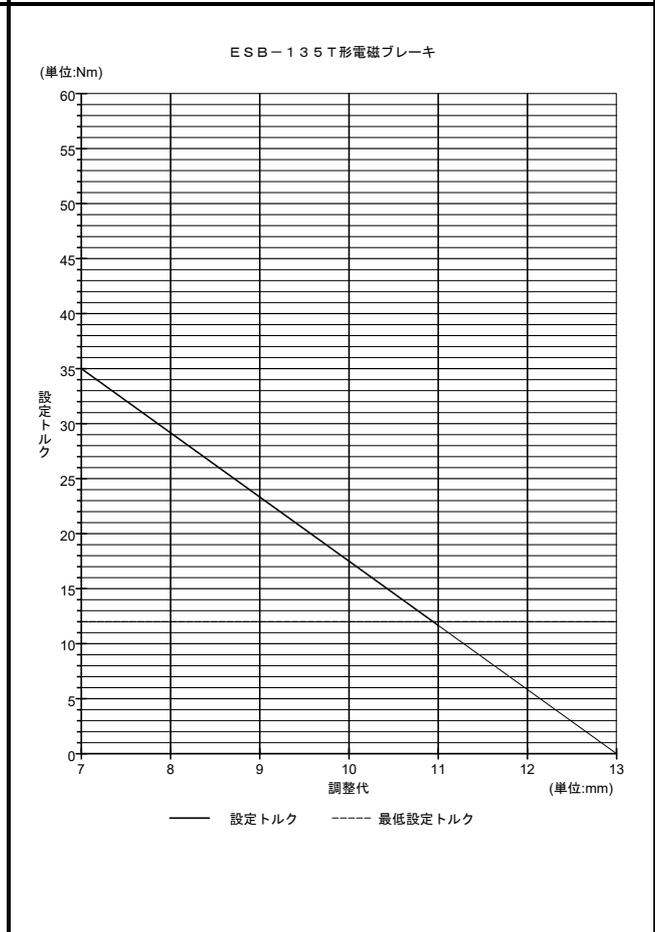
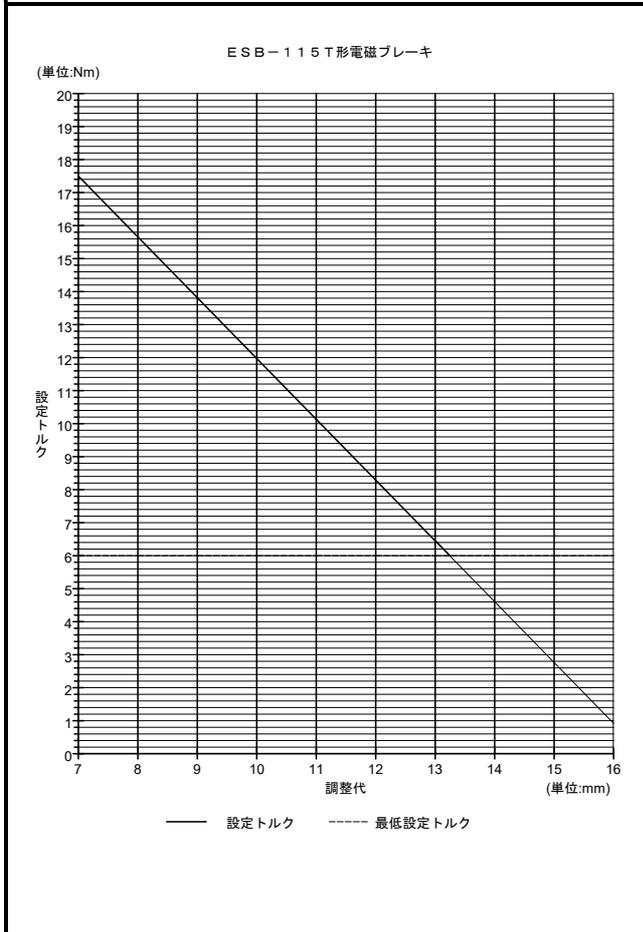
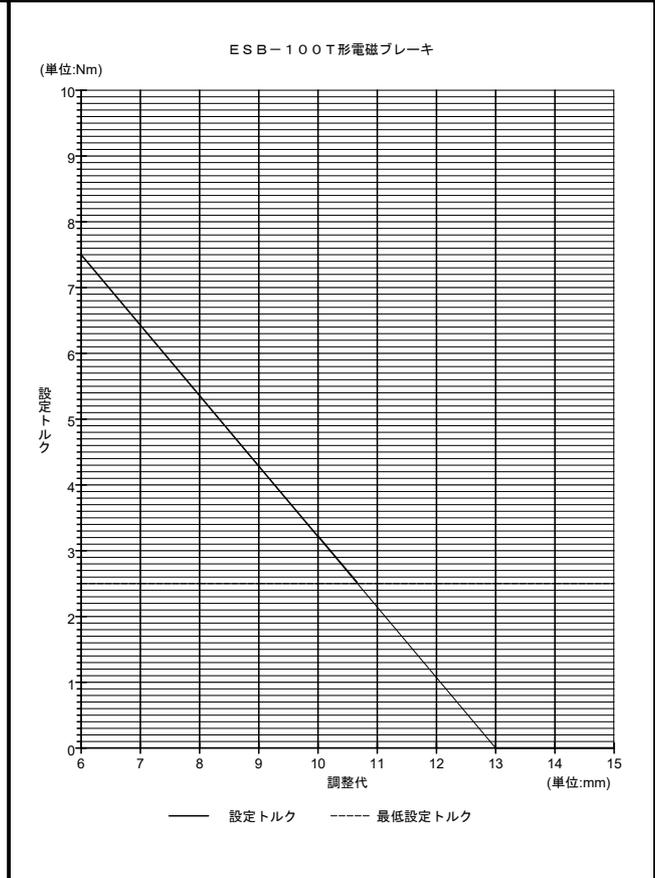
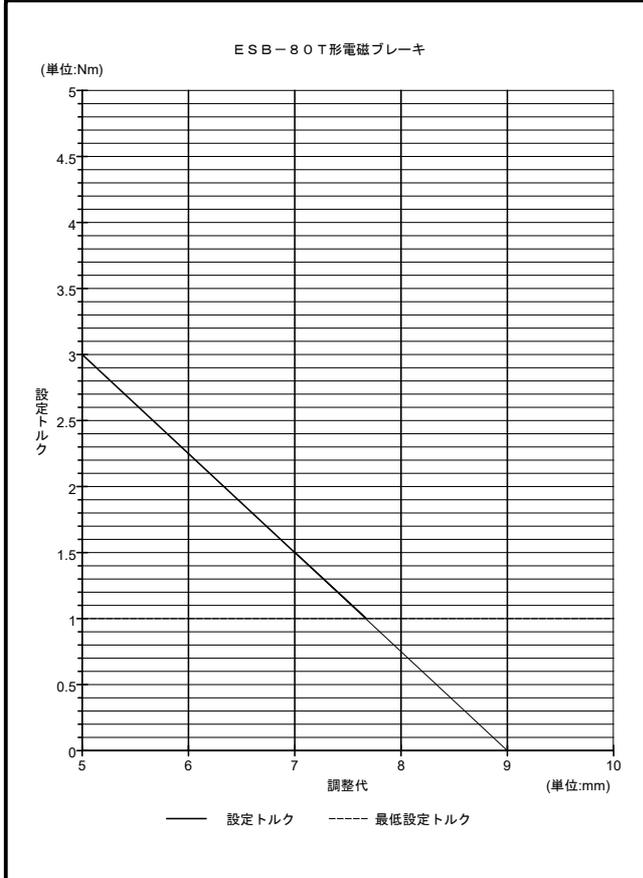


トルクの設定値は、4項のトルク調整方法により、左図の調整代を調整する事により、トルクの設定値を可変することができます。

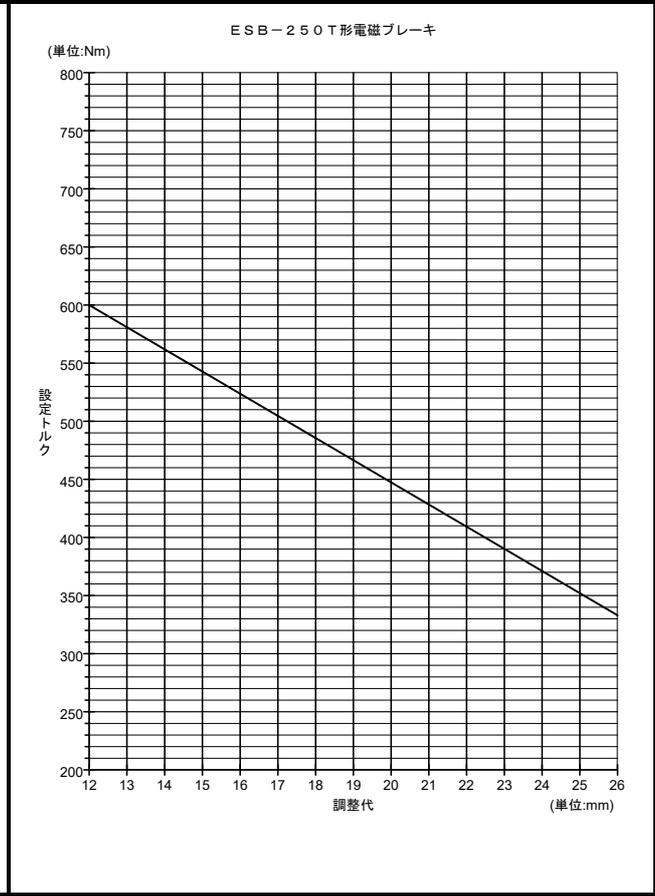
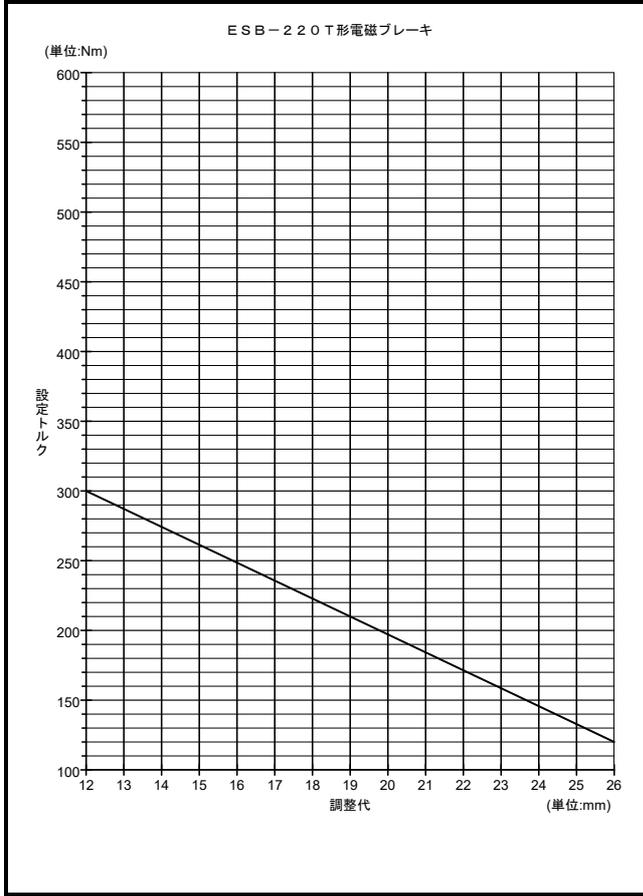
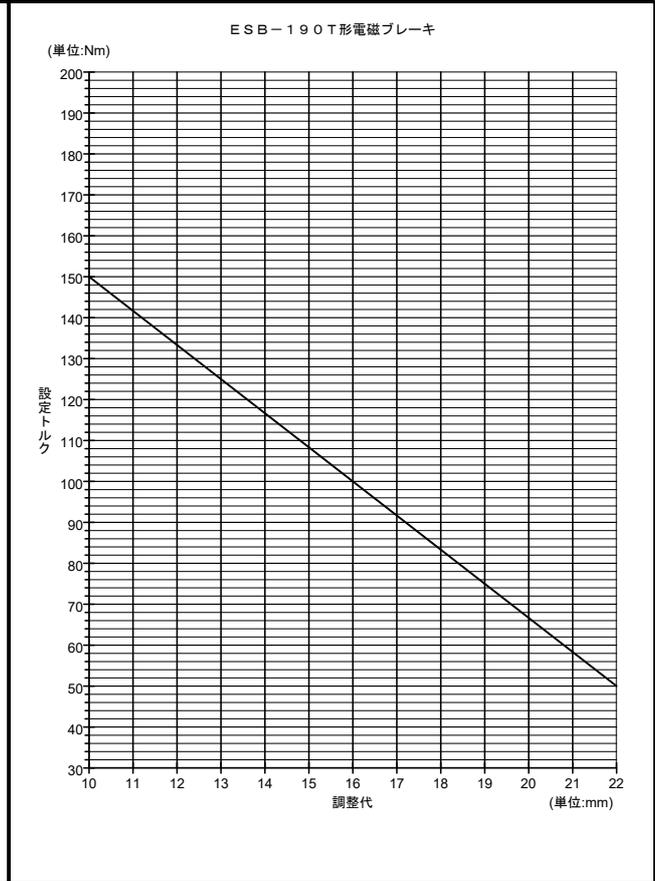
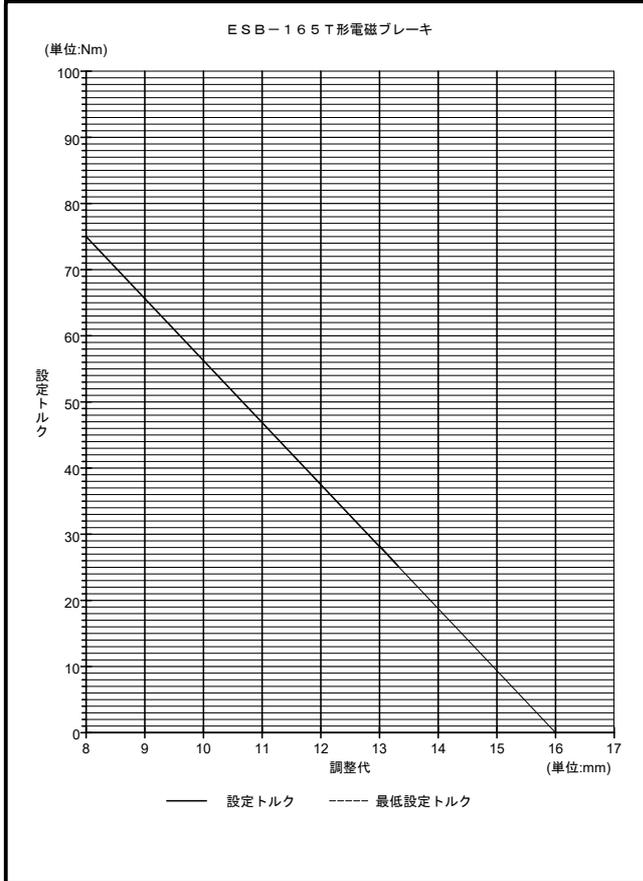
各形式の設定トルクと調整代の関係のグラフを次のページから示します。

注意：設定トルクと調整代の関係のグラフは発生トルクを保証するものではなく、設定の目安です。（新品時等の初期トルクや摩擦面の状況により発生トルクにはバラツキがある為、目安として下さい）

設定トルクと調整代の関係



設定トルクと調整代の関係





4. トルク調整方法

- (1) トルク可変ネジ⑬を固定している止メネジ⑭を弛めて下さい。
- (2) トルク可変ネジ⑬を右に回すと調整代が小さくなり設定トルクが大きくなり、左に回すと調整代が大きくなりトルクが小さくなります。
最大設定トルクは、ESBトルク一定形の定格トルクと同一で、トルク可変ネジ⑬がフィールド①に密着した状態です。
トルク設定値の詳細は設定トルクと調整代の関係のグラフを参照下さい。
注意：ESB-80T～ESB-165Tの設定は最小設定トルク以下の設定は危険ですので、最小設定トルク以上に設定して下さい
- (3) トルクを設定しましたら、止メネジ⑭でトルク可変ネジ⑬を確実に固定して調整完了です。